



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月6日

上場会社名 GMO TECH株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6026 URL https://gmotech.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 鈴木明人
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 管理部部長 (氏名) 染谷康弘 (TEL) 03(5489)6370
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	992	—	30	—	29	—	6	—
2020年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 5百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	6.05	—
2020年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は2020年12月期第1四半期は非連結での業績を開示しておりましたが、2020年12月期第3四半期より連結業績を開示しているため、2020年12月期第1四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,388	777	56.0
2020年12月期	1,230	771	62.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 777百万円 2020年12月期 771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2021年12月期	0.00	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,800	3.8	△1,000	—	△1,000	—	△1,000	—	△942.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名) ー 、除外 ー社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期1Q	1,100,620株	2020年12月期	1,100,620株
2021年12月期1Q	39,621株	2020年12月期	39,621株
2021年12月期1Q	1,060,999株	2020年12月期1Q	1,061,009株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7
(一株当たり情報)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年3月31日まで)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の収益状況や景況感の悪化、個人の消費減退やインバウンド需要の消失長期化など厳しい状況が続いております。企業経済活動および個人消費の一部に持ち直しの動きが見られたものの、2020年度末には再び感染が拡大し、2021年1月に一部地域に緊急事態宣言が再発令され、変異型コロナウイルスによる第4波が懸念されるなど依然として先行きが見えない状況が続いております。世界経済においても、新型コロナウイルス感染は拡大しており、経済活動は大幅に制限されております。

当社の事業領域である国内インターネット広告市場は年々拡大傾向にあり、2021年度には2.3兆円を超える見込み(※1)であります。2020年は新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い、国内外での社会経済活動がかなり制限される事となり、消費者のライフスタイルやワークスタイルが変化し、広告主である企業においても広告を自粛する事態となりました。緊急事態宣言解除後、当第1四半期連結累計期間において国内インターネット広告市場においては復調傾向であります。

(※1)出所：株式会社矢野経済研究所

このような事業環境の下、当社は継続して商品力の向上と営業の効率化に注力し、事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、集客支援事業においては注力しておりますMEO(※2)サービスを中心にアフィリエイトサービスも共に順調な進捗をいたしました。不動産テック事業においては、サービス開発に一層注力しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高992,126千円、営業利益30,899千円、経常利益29,197千円、親会社株主に帰属する四半期純利益6,420千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の分析は、変更後の区分に基づいております。

①集客支援事業

集客支援事業には、検索エンジン関連サービス、運用型広告・アフィリエイト広告サービス等を含んでおります。

検索エンジンサービスにおいては、注力サービスとしておりますMEOサービスが堅調に伸びております。要因として、主力商品「MEO Dash! by GMO」の認知向上・見込み顧客創出を目的としたマーケティング施策が順調に推移していること、営業人員の教育・育成が順調に進んでいることがございます。また、MEOの市場認知形成も進めておりビジネスオーナーの皆様へ浸透が出来ている点も要因と捉えております。

アフィリエイト広告サービスにおいては、特定分野におけるお客様の市場が伸びており、アフィリエイト広告の需要が高まり当第1四半期連結累計期間において好調な伸長がございました。

その結果当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は992,126千円、セグメント利益は134,390千円となりました。

(※2)MEOとは(Map Engine Optimization)の略で、主としてGoogle社が提供するGoogle Mapにおいて上位表示を実現しアクセスを増加させること、またそのための技術やサービスを指します。

②不動産テック事業

不動産テック事業には、連結子会社GMO ReTech株式会社で提供いたします賃貸DXサービス等が含まれます。賃貸運営を楽にするをミッションとし、賃貸運営に関わる方々をもっと自由にするために、当第1四半期連結累計期間においてもサービス開発、改善に取り組んでまいりました。

その結果当第1四半期連結累計期間におけるセグメント損失は104,540千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ157,599千円増加し、1,388,371千円となりました。主な変動要因は、現金及び預金150,928千円の増加(前事業年度末比37.0%増)、売掛金110,831円の増加(前事業年度末比33.2%増)、関係会社預け金200,000千円の減少(前事業年度末比100.0%減)によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結累計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ151,735千円増加し、610,716千円となりました。主な変動要因は、買掛金107,382千円の増加（前事業年度末比43.3%増）、未払法人税25,582千円の増加（前事業年度末比100.0%増）によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ5,864千円増加し、777,655千円となりました。主な変動要因は、四半期純利益6,420千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の業績予想に関しては、現時点では、新型コロナウイルスの感染終息時期の見通しが立たず、当社業績に与える影響について、適正かつ合理的な算定の実施が困難なため、通期業績予想値には織り込んでおりません。以上により、2021年2月5日の「2020年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想値については変更をしておりません。今後、当社業績に与える新型コロナウイルスの拡大による影響が重大と見込まれることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	407,631	558,560
売掛金	334,185	445,016
関係会社預け金	200,000	-
前払費用	26,464	43,879
その他	8,602	9,149
貸倒引当金	△3,426	△3,805
流動資産合計	973,456	1,052,800
固定資産		
有形固定資産	10,090	8,936
無形固定資産	136,455	210,238
投資その他の資産		
投資有価証券	79,984	78,895
関係会社株式	0	-
敷金	30,785	37,500
投資その他の資産合計	110,769	116,396
固定資産合計	257,315	335,571
資産合計	1,230,772	1,388,371
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,979	355,362
未払金	152,422	165,220
未払法人税等	-	25,582
その他	45,302	50,109
流動負債合計	445,705	596,274
固定負債		
繰延税金負債	3,664	4,803
資産除去債務	9,610	9,638
固定負債合計	13,275	14,441
負債合計	458,980	610,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,663	277,663
資本剰余金	267,663	267,663
利益剰余金	319,800	326,221
自己株式	△100,488	△100,488
株主資本合計	764,638	771,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,153	6,596
その他の包括利益累計額合計	7,153	6,596
純資産合計	771,791	777,655
負債純資産合計	1,230,772	1,388,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	992,126
売上原価	648,239
売上総利益	343,887
販売費及び一般管理費	312,987
営業利益	30,899
営業外収益	
受取利息	29
その他	307
営業外収益合計	336
営業外費用	
為替差損	655
補助金返還額	1,096
その他	286
営業外費用合計	2,038
経常利益	29,197
税金等調整前四半期純利益	29,197
法人税、住民税及び事業税	21,393
法人税等調整額	1,384
法人税等合計	22,777
四半期純利益	6,420
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,420

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	6,420
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△556
四半期包括利益	5,863
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	5,863

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	集客支援事業	不動産テック 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	992,126	-	992,126	-	992,126
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,050	-	1,050	△1,050	0
計	993,176	-	993,176	△1,050	992,126
セグメント利益 又は損失(△)	134,390	△104,540	29,849	1,050	30,899
その他の項目					
減価償却費	1,894	6,562	8,456	-	8,456

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,050千円は、セグメント間内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、損益計算書の営業利益と一致しております。
3. セグメント利益又は損失(△)には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。
4. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。
5. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております

(1株あたり情報)

	当連結事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	732.95円
1株当たり当期純利益金額	6.05円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	2014年3月20日定時株主総会決議の新株予約権 新株予約権の個数 1,506個 新株予約権の目的となる株式数 普通株式 7,530株

- (注) 1. 当連結事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額	
当期純利益(千円)	6,420
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	6,420
普通株式の期中平均株式数(株)	1,060,999
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	
当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加額(株)	—
(うち新株予約権(株))	—

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。